

## 2/19 学校交流「台湾day」

2016.02.20



2月19日、台湾桃園市の国民中学校「亀山国民中学」と「光明国民中学」の生徒計35名が本校に来校され、本校の2年生と3年生の生徒と交流する「台湾day」を実施しました。

3年次のオーストラリア海外研修、5年次の海外修学旅行の際には、本校は学校交流を受け入れていただきましたが、本校がこのような形で海外の学校を受け入れるのは初めてのことでした。

最初は6時間目に歓迎式典を行いました。お互いがコーラスの披露や器楽演奏を披露し、歓迎の気持ちを表しました。



35名の生徒が来校されました



まずは歓迎式典です



亀山国中の校長先生に挨拶していただきました。



コーラスコンクールで金賞を取った3年2組による歓迎の合唱





本校生徒による空手試技



亀山国中の生徒のウクレレ演奏



光明中学の生徒による笛の演奏



両校の生徒が英語で桃園市のプレゼンをしてくれました



歓迎式典が終了し、プラカードを掲げバディ生徒を探します



これから、バディ生徒と共に授業体験です

7時間目は授業体験です。35名の生徒のみなさんが、2年生と3年生のそれぞれ2クラスずつの授業を体験しました。



2年の英語の授業で自己紹介



しっかりとコミュニケーションすることができたでしょうか



数学の授業では2進法を使ったクイズ



みんな真剣に聞いています



3年の英語は通常の日本の授業スタイルで





台湾の生徒のみなさんはどう感じたことでしょうか

授業終了後は送別式典です。台湾の春節に行われる「ランタンフェスティバル」にちなみ、今年の干支であるサルのランタンを一緒に作りました。

送別式典では本校の生徒からの挨拶のあと、お互いに記念品や感謝状の交換をしました。短時間ではありましたが、生徒達は交流を深め、別れる際にはみんな名残惜しそうにしていました。



一緒にランタンを作りました



干支にちなんだサルのランタンです



短時間ですが、すごく仲良くなりました。



本校の代表生徒からの挨拶です



亀山国中から感謝状をいただきました



こちらは記念品です



光明国中からも記念品をいただきました



本校から感謝状をお渡しました



いよいよお別れの時です



名残惜しく、なかなかお別れできなかったです





校長先生と記念撮影



日本と台湾の友好の架け橋を築くことができました

参加した生徒達にとっては、とても良い経験になったと思います。台湾の生徒さんとの共通の言語が英語だったため、「もっと英語が話せるようになりたい」と言っていた生徒もいました。このような形で本校に学校交流の団体が来校されたのは初めてですが、今後もこのような機会がドンドン増えれば良いな、と思います。